

館名	安芸津生涯学習センター，黒瀬生涯学習センター，寺西地域センター，川上地域センター		
事業名	ドーンと健幸！シニアのための和太鼓教室		
趣旨	<p>【学習目的】 高齢者が孤立しないように、趣味などの生きがいを持つ。老若男女が健康で安心して暮らすことのできる友達づくりの場を持つ。</p> <p>【学習目標】 和太鼓のたたき方，楽しさ，健康とのつながりを知ることができる。 実際に体験することで，自信につなげ，地域の人とのつながりを感じるようになる。</p>		
特徴	東広島市教育委員会主催の社会教育関係職員研修会(スキルアップ研修全5回)で市内の関係職員等が、「地域づくり，人づくりを担う社会教育の役割」について講義を聞いたり，「学びの学習プログラムをつくる」グループ演習をしたりして，実際に講座を考え，実施し，成果や課題について交流をしている。		
事業の様子			
	太鼓と健康について学ぶ	課題曲練習の様子	来場者との交流
活動実績	<p>【実施期日】 第1回 平成 29 年 10 月 4 日（水）10：00～12：00 第2回 平成 29 年 10 月 25 日（水）10：00～12：00 第3回 平成 29 年 11 月 4 日（土）10：00～12：00</p> <p>【実施場所】 黒瀬生涯学習センター イベントホール，リハーサル室</p> <p>【学習支援者】 第1回 「和☆ROOK」荒井啓，荒井智，安江真由子 第2回 「和☆ROOK」荒井啓，安江真由子 第3回 「和☆ROOK」荒井啓，荒井智，荒井裕，荒井美波，荒本真也，飛垣内陽気，西尾明紘</p> <p>【主催】 安芸津生涯学習センター，黒瀬生涯学習センター，寺西地域センター，川上地域センター</p> <p>【関係機関、団体等との連携】 和☆Rock(広島の和太鼓グループ)</p> <p>【対象者及び参加者数】 第1回 9名（男1名，女8名）</p>		

活動実績	<p>第2回 9名（男1名、女8名） 第3回 9名（男1名、女8名）、他来場者 15名</p> <p>【事業費】 24,000 円 （内訳：報償費 24,000 円）</p> <p>【参加者の声】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太鼓と健康の関わりを知ることができてよかった。 ・気分も身体も気持ちがよく、笑顔になれた。 ・観客のみなさんと演奏できてとてもよかった。 ・先生の言葉かけなどがシニアに優しく、やる気がでた。 ・発表会を目標にこのメンバーで頑張れてよかった。 ・講座が終わり、さみしい、バチを取り上げられるような気持ちにする。
成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「太鼓上達のために練習の時間がほしい」「上達のためにどのような練習をしたらよいか」練習時のポイントなどを質問されたり、受講者どうしで教え合ったりする等、受講者全員が大変、意欲的であり、中には講座の継続を求める声もあった。発表会に対する意気込みも大いにあり、緊張されている受講者もいたが、一緒に頑張る仲間の存在が心強く、「発表会を目標にこのメンバーで頑張れてよかった」「講座がもう終わりだと思うとさみしい」という感想をいただいた。さらに、講師の先生の指導力や受講者への優しい声掛けは、受講者のやる気や自信を高めてくださった。 ○受講者の意欲や健康への意識や興味を高めることができた。また、“発表会”という少し高めめの共通の目標に向けて取り組むことで、受講者間での絆やつながりができた。発表会では、来場者が少なかったが、来場者も含め全員が和太鼓にふれ、子どもからお年寄りまで楽しめる場となり、世代間交流の役割も果たすことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講座をするまでにすべき準備や事業の流れ、タイムスケジュールをグループメンバーの全員が把握・共有できておらず、バランスよく事業を分担できなかった。 ○講師との打ち合わせが当日になってしまったため、慌てる場面が少しあったが、皆でカバーできた。打合せや確認、リハーサルを行う時間があれば、もっとスムーズに進行でき、受講者の行動観察や気配り・サポートにあてられ、よりよいものになったのではないかと。 <p>《第1回において》</p> <p>受講者の意欲に合わせて講座の内容を変更する可能性もあったが、初回から笑顔も多く見え、講座の全課程修了後も継続したい場合はどうしたらよいかなどの質問が出るなど、想像以上に意欲的に太鼓講座を受講していることが分かった。講師との打ち合わせが十分でなかったため、進行に若干もたつきが生じてしまった。</p> <p>《第2回において》</p> <p>受講者の個人の記録ノートを確認する時間が少なく、家庭での取り組みや感想などに対する確かなコメントや声掛けがあまりできなかった。健康クイズがかなり駆け足になってしまい、受講者の立場になって検討を重ねるべきであった。練習時間を確保しようとするあまり、次回の発表会についての確認があまりできなかった。発表会の衣装や司会進行について、受講者に提案、実践を促し、受講者も一緒になって発表会を完成させることがねらっていたが、時間の関係もあり、グループ職員が担当する結果となってしまい、悔いが残る。</p> <p>《第3回において》</p> <p>受講生のリハーサル時間（20分）も含め、開演時間を告知していたことから、待機の時間分は、センター職員や映像による受講者や講座の紹介を行った。宣伝、集客があまりでき</p>

ておらず、来場者が少なかったこと、講師や出演の和ロックさんとの打合せが十分でなく、進行がもたついたことが課題としてあげられる。また、受講者の発表時間をもう少し長めにとる、もしくは繰り返し演奏するなど配慮すべきだった。時間的な課題が多く残るが、受講者の全員が意欲的に笑顔で取り組めたこと、発表会をすることで達成感を得られたことがよかった。また、講師の演奏や司会進行、来場者との会話や間の取り方など、大変参考になった。発表会終了後は、控え室にて修了式で受講者の感想、意見を聞き、この講座を企画してよかったとグループ職員も達成感を感じられた。

【運営した感想】

(嬉しかったこと)

- ・受講者同士で教え合うなど、受講者全員が大変、意欲的であり、中には講座の継続を求める声もあった
- ・発表会では、来場者も含め、全員が和太鼓にふれ、子供から高齢者まで楽しめる場となったり、受講者よりも若い世代の方に講師をしてもらったりしたことで、世代間交流の役割も果たすことができた。

(工夫したこと)

- ・講座の1回1回の目標をはっきりさせるたことで、受講者の目的意識を明確にした。
- ・個人の記録ノートを活用し、目標を書き込んだり、練習の記録や講師・職員からのメッセージを書いたりする等して受講者のモチベーションがあがるようにした。
- ・太鼓を叩くだけでなく、健康〇×クイズ(太鼓と健康の関係を学ぶ)や随所に意見交流・振り返りの場を設定することで学びや交流が深まるようにした。
- ・修了証書を授与することで受講者に達成感を持たせるようにした。

(今後の希望)

募集期間、計画期間が短い中、発表会まで無事終了できたことは評価できる。本来、受講生の意見を取り入れるべきところは、時間の制約によって職員が段取りしているが、今回の受講生の参加態度、アンケートなどから、もう少し寄り添うことで、サークルの立ち上げも十分に見込めることがわかった。指導者は、地元で名の知れた若い集団ということもあり、ただの指導者と受講生という立場のみならず、世代間交流も併せることができ、今後の指導相談なども前向きに検討していただいている。

今回のように、講座終了後の継続など、計画以上のことを受講生から求められたときの対応については、各センターの主催講座の開催目的や長期計画など、総じての判断が必要となる。本研修で実際に講座を開催、実演したことで体得した知識は、次年度の講座開設にあたって大きな収穫となった。

【安芸津生涯学習センター】

〒739-2402 東広島市安芸津町 4423

電話 0846-45-2334 ファクシミリ 0846-45-2021

電子メール hgh451107@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

【黒瀬生涯学習センター】

〒739-2624 東広島市黒瀬町管田 10

電話 0823-82-1100 ファクシミリ 0823-82-1104

電子メール hgh821100@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

【寺西地域センター】

〒739-0041 東広島市西条町寺家 3166-1

電話 082-423-7335 ファクシミリ 082-423-7335

連絡先

電子メール teranishi-k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

【川上地域センター】

〒739-0146 東広島市八本町飯田八丁目 19-49

電話 082-428-0044 ファクシミリ 082-428-0044

電子メール kawakami-k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp